

(80) 栃木県鹿沼市上久我の高平鉾山跡

参考文献(1)で、この鉾山の解説文及び鉾床図を見たとき、この鉾山は、参考文献(2)で紹介している加蘇鉾山のことと思った。荒井川のほとりに、同じ当たりにある鉾山だからであった。鉾山名は、所有者の変更毎に良く変わってもいるからである。また、参考文献(2)には、高平鉾山の解説項もあり、その位置は、加蘇鉾山に隣接はしているが、加蘇鉾山から見ると、荒井川の対岸に位置していたからである。しかし、参考文献(2)の鉾床図を、参考文献(2)の加蘇鉾山の鉾床図とよくよく対照させてみると、合致しない。加蘇鉾山の少し上流側に、参考文献(1)が紹介している「高平鉾山」があるはず。と考え、探査に出かけた。高平鉾山跡は確認できた。マンガン鉾の標本は今での容易に採集できる。

この鉾山への道順は、本鉾山探査記で紹介済の「加蘇鉾山」への道順と同じである。鹿沼市中心からならば、14号線を西に進み、240号線に入り、荒井川に沿って進んでいく。法長内地区を過ぎ、馬返地区を過ぎて直ぐに、道路の右側に加蘇鉾山跡がある。道脇に通洞坑跡があるので直ぐにわかる。高平鉾山跡は、ここから荒井川に沿って道路を200m~300m上流に進んだ山側にある。

探査日 2011年 2月、その他

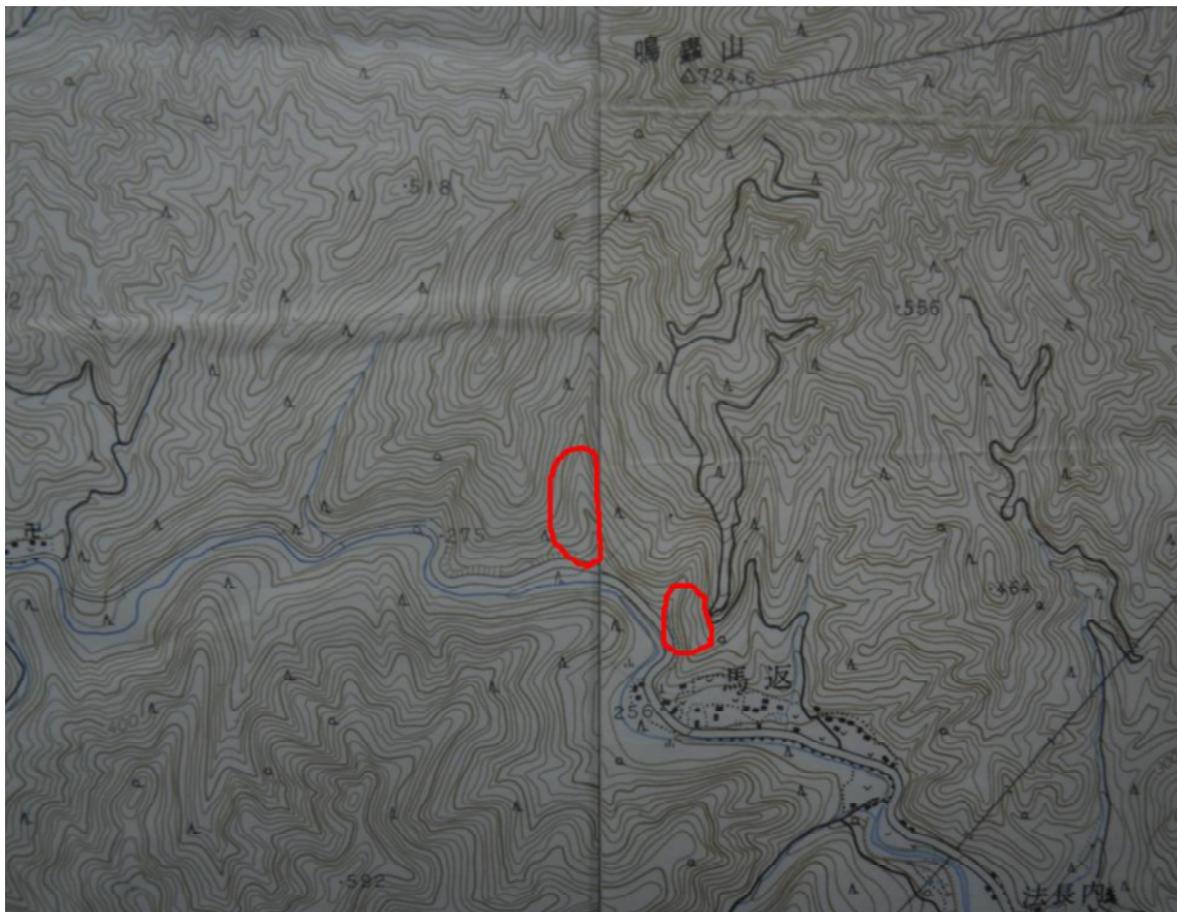


図1 国土地理院2万5千分の1地形図「古峰ヶ原+文挾」。図中の右側の赤丸は加蘇鉾山跡。左側の赤丸が、今回探査した高平鉾山跡。

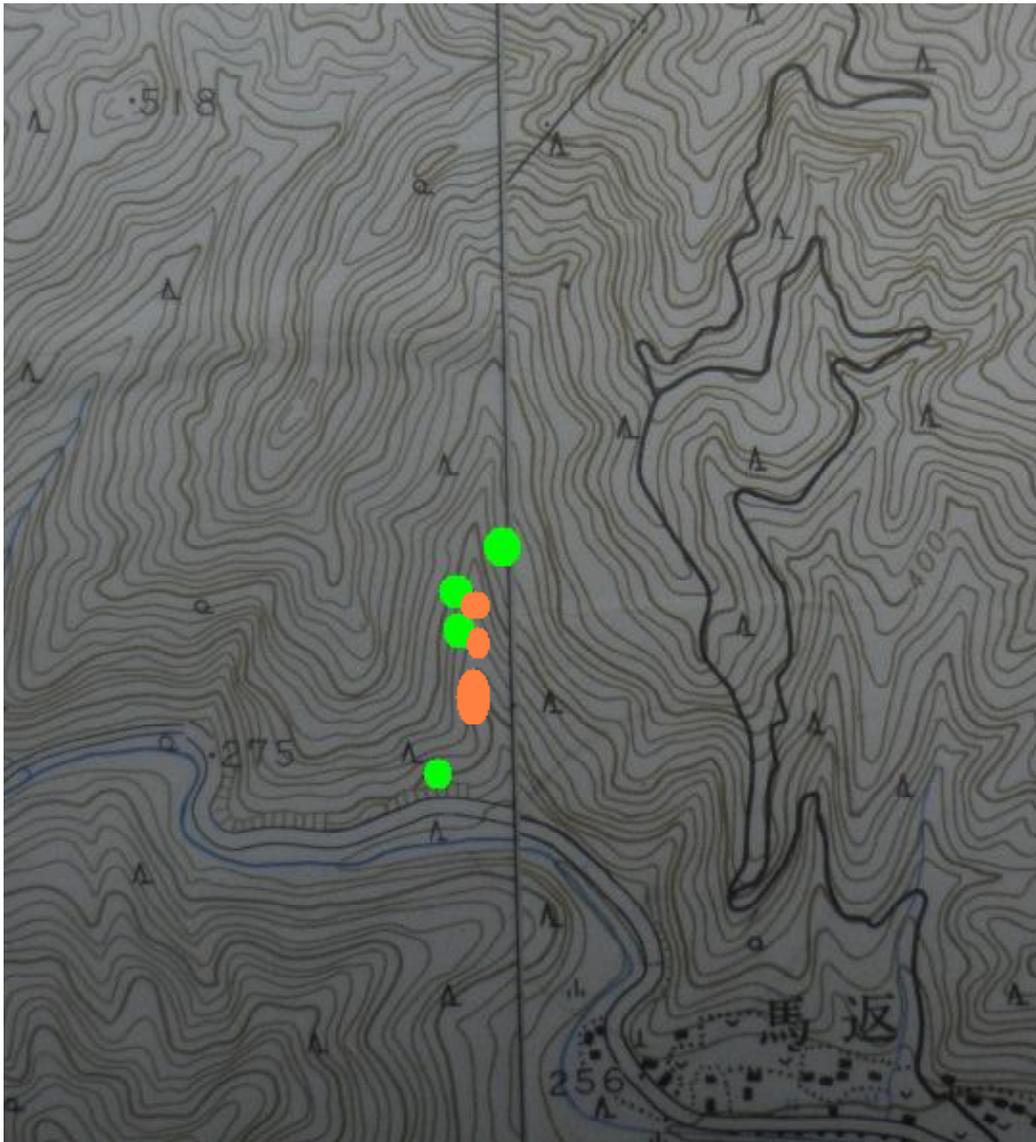


図2 図1の部分拡大。探查した結果を示している。黄緑丸が坑口跡。茶色丸がズリらしき跡。

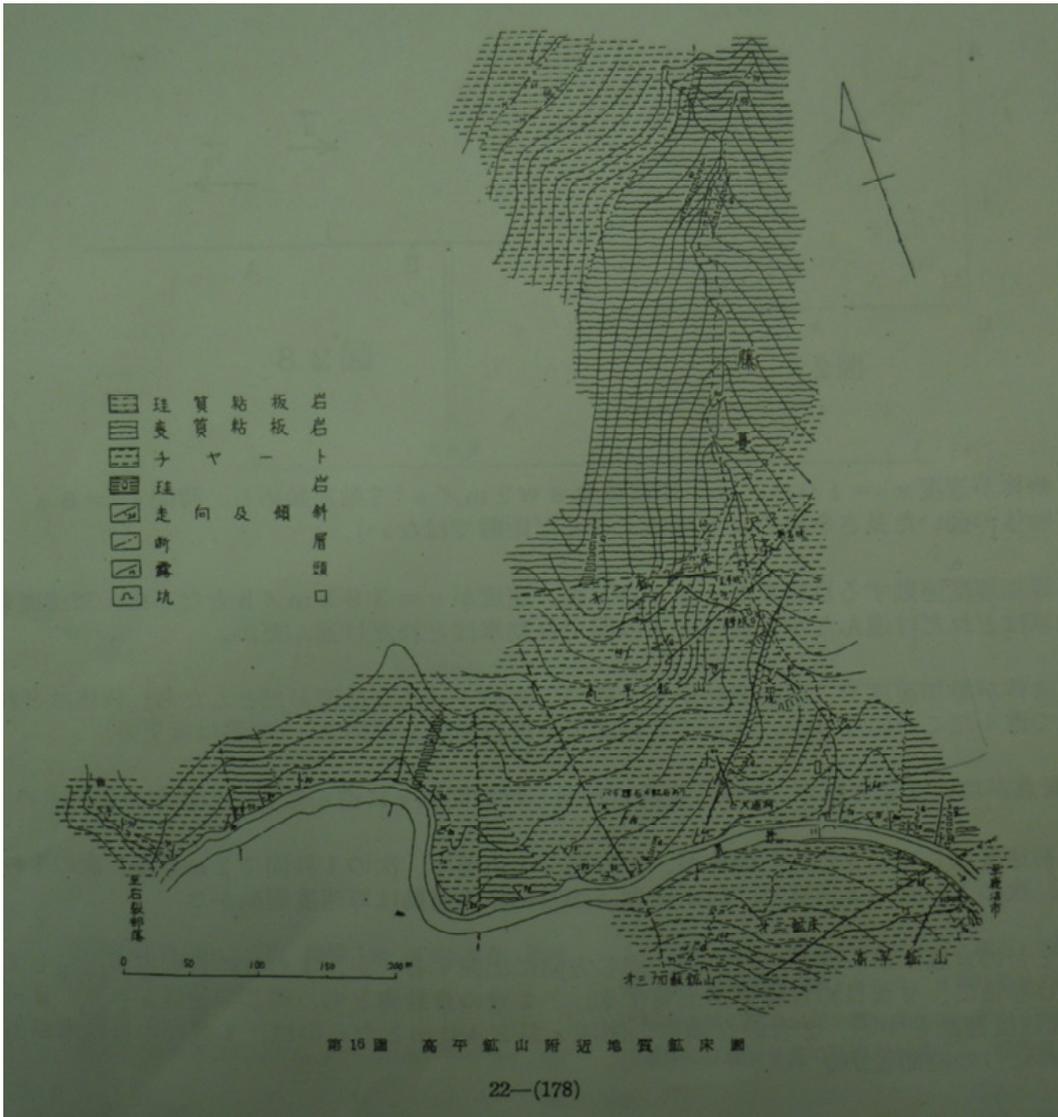


图3 参考文献(1)より複写転載。高平鉞山付近地質鉞床図。

鉾山跡写真



写真1 車道の山側にある小さい砂防ダム。この少し上は平らになっている。写真2で示している坑口跡がある。図3に記されている通洞坑と位置がほぼ一致するので、通洞坑跡と確信した。



写真2 通洞坑跡。この下には一応ズリらしいものはある。が、めぼしい標本は見つけられなかった。



写真3 写真1に示している砂防ダムの少し手前になる。車道の山側に、真っ直ぐに林道が伸びている。林道の右側は沢。この林道の先に、多数の坑口跡があった。林道は途中、途中で消えかかっているが、その時には沢を登ればよい。
砂防ダムの銘板によれば、この沢は「トツラ沢」。



写真5 沢を登って行って、沢の左手にあったテラス状の部分。鉱山施設跡なのかも知れない。付近に坑口跡が幾つかある。ズリもそれなりにある。



写真6 坑口跡の1つ。

採集鉱物写真

マンガン鉱山であることは確かである。が、それ程の標本は採集できていないので、写真は未掲載。

参考文献

- (1)「栃木県鹿沼地方マンガン鉱床調査報告(昭和28年2月~3月調査)」宮本弘道、高瀬 博、丸山修司、地質調査所月報(第5巻、第4号)、163頁~182頁。
- (2)「日本地方鉱床誌 関東地方」今井秀喜、河井興三、宮沢俊弥、朝倉書店、1973年。